



2019年12月6日
株式会社はとバス

弊社観光バスコース運行中の死亡事故について<第2報>

2019年12月4日(水)18時35分頃、弊社観光バスが新宿中央公園前交差点でハイヤーと衝突事故を起こし、ハイヤーの乗務員の方が死亡する事故を惹き起こしました。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し衷心より深くお詫び申し上げます。

本件に関しまして、2019年12月6日(金)17時00分現在で、弊社で把握できました新たな情報は以下の通りです。

記

1) 関東運輸局東京支局による監査の実施

2019年12月5日 弊社の本社営業所において、全運転士を対象とする一般監査が行われました。

2) 大田労働基準監督署による監査の実施

2019年12月5日 弊社の本社営業所において、事故を起こした運転士の勤怠に関する監査が行われました。

3) 事故を起こした運転士本人への事実関係確認について

本人はインフルエンザに罹患しているため電話にて事情を確認した結果、弊社が把握する事実は以下の通りです。

- ・前日(12月3日)の公休日は、少し風邪気味のため漢方薬を服用し20時に就寝した。
- ・翌日(12月4日)は5時に起床し、念のため漢方薬を服用し6時40分に出勤した。
- ・6時57分に出庫点呼を受け、その際は健康状況に関して全く問題ない旨を申告し、点呼者はそれを現認し出庫の許可を与えた。
- ・その後も若干風邪気味とを感じるものの、それ以上の症状とは思わず運行を継続した。
- ・17時10分発の夜コース出発時も特別悪化した認識はなく通常通り運行し、夕食箇所までお客さまとガイドを送り、その後京王プラザホテル付近で路上駐車待機をした。
- ・18時30分頃迎えのため出発したが、事故を起こす前後の記憶がなく、気が付いた時には街路灯に激突していた。
- ・事故後、東京医科大学病院に搬送され、MRI、CT スキャン、心電図の検査を行ったが本人は検査結果を告知されていない。また、この時に体温を計測したが平熱であった。
- ・その後警察病院に移送され、再度体温を計測したところ38度を超える熱があり、インフルエンザ検査を実施した結果、A型であると告知され、その時初めてインフルエンザに感染している事実を認識した。

4) 事故の原因

現在のところ、警察による捜査が行われており、ドライブレコーダー記録や病院の検査結果等の情報は一切得られておらず、事故の原因は判っておりません。

以上

| | |
|---------|-----------------------------------|
| お問い合わせ： | 株式会社はとバス |
| | 経営本部総合企画調整部広報課 |
| | TEL：03-3761-8128/FAX：03-3761-7600 |